



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2024/11/9 Rd-8 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：21℃ 出走台数：21台

最終決戦となる第22回JAFグランプリ。土曜日にRd8、日曜日にRd9、の2レース制で開催される最終第7大会は、緊迫の予選終了から息つく暇なく決勝レースが行われる。ドライバーランキング首位の坪井選手を14.5ポイント差で追う牧野選手。後ろからは僅か2ポイント差で野尻選手が迫っている。

ポールポジションスタートの太田選手は危なげなくスタートを決めて首位で1コーナーへ。牧野選手は目前でエンジンストールした岩佐選手をうまく避けて3番手でオープニングラップを周回する。首位を走る太田選手は、ピットウィンドオープンになる10周目時点で2番手に5秒以上のギャップを築くハイペース。チームは3番手走行の牧野選手を先にピットに呼び、ミスなくコースへ送り出す。しかし翌11周目にピットに入った坪井選手にオーバーカットされ先行を許してしまう。太田選手はピットアウト後もスーパーラップを連続し2番手坪井選手を引き離す。牧野選手は坪井選手にプレッシャーをかけ続けるも3番手走行が続いた。レース中盤から6台がリタイヤ、2度のセーフティカー導入となったサバイバルレースを制し、太田選手はポールtoフィニッシュかつファステストラップも記録するパーフェクトレースで今季初優勝。

牧野選手は3位フィニッシュで、明日の最終戦に向けてタイトルの可能性を残してレースを終えた。

太田選手、牧野選手のワン・スリーフィニッシュで、DOCOMO TEAM DANDELION RACINGはチームランキング首位に浮上。ダブルタイトル獲得に向け明日最終戦に臨む。

5：牧野任祐選手 3位

レース前半はラップペースが良なくて、ミニマムの10周目にピットインしました。タイヤ交換後は良い感触でしたが、坪井選手にオーバーカットを許してしまったことが痛かったです。坪井選手を攻略したかったのですが、オーバーテイクするには届きませんでした。ドライバータイトルは僕と坪井選手の一騎打ちで最終戦に持ち越しです。厳しい状況ですが、やり切って悔いのないレースにします。

6：太田格之進選手 優勝

予選に続いて決勝の車もとても良く、ラップペースでは他を圧倒できましたし、自分自身もミスなくレースをコントロールできました。スタートからゴールまでプッシュでき、ファステストラップも、ポールtoフィニッシュも、チームランキングへの貢献も出来、今日の目標を達成できたと思います。

明日に向けてもチームとして最善の結果を持ち帰れるように頑張りたいと思います。